

# 小川やすえ 県政レポート

Vol.2 2019年9月号

〒524-0033 守山市浮気町300-15 4-323 TEL:077-535-6885  
http://ogawayasue.net



総務常任委員会の県内調査で、消防学校の見学とヒアリングをし、防災ヘリ「琵琶」に試乗



議員番号は十番！

県議会議員としての活動の場をいただき、半年が経ちました。現在「総務常任委員会」「行財政・働き方改革特別委員会」に所属し、また会派政調会のメンバーにも選ばれ、代表質問作りになどにも取りみ、議案説明、予算聴取、県内外調査等ひたすら勉強の日々です。市民のみなさまのご期待に応えられるよう頑張っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

居住支援を重要とした国の指針に伴い策定された「しが住宅セーフティネット計画」と、実際の運用の乖離を指摘し、若者たちの自立に向けたサポートを訴えさせていただきました。

民法改正に伴い、国から「公的住宅の供給に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」が出されたが、そこに記載されている「団体保証人」「保証人に関する規定の削除」について県としてどう対応していくのか

県の「しが住宅セーフティネット計画」の整合性を高めるためにも、県営住宅に「児童虐待を受けたもの」「児童養護施設退所者」が入れるよう、単身入居の要件を緩和すべきでは

社会的養護終了後の居住支援のために「しがあんしん賃貸住宅」の対象者が国のものに比べて狭い。県の計画に明記されている「児童虐待を受けたもの」「児童養護施設退所者」などを入れるべきでは

「社会的養護の最後の砦」とも言われる「自立援助ホーム」の現状と課題

## 社会的養護が必要な若者たちの自立支援



6月24日、はじめての一般質問にたたせていただきました。

## 6月定例会議一般質問



## 滋賀県議会9月定例会議

9/18(水)～10/11(金)

ネット中継やBBCのダイジェストもご覧下さい

さらなる推進のためには、安全性には配慮しながら地域事情にあわせた設置基準（広さ、交通量の柔軟な対応も必要では。新聞各紙にも取り上げていただきました。また、当局からは「今後県内8市2町で計14カ所を導入を検討している」との答弁を得ました。守山市の県道でも今後2カ所導入が進む予定です。通行ルールの周知など、警察、県、市と連携して取り組んでいきたいと思っております。

H27年に守山市立田町に滋賀県初のラウンドアバウトが設置されて以来進展がなかったが、この6月に米原市に2カ所目が完成。今後の県内設置計画について問う。

ラウンドアバウトは、大津市大萱の交通事故のような「直進車と右折車の接触事故」は発生せず、安全性や信号機維持管理コストの削減、遅れ時間の短縮などのメリットを指摘。



ラウンドアバウト（信号の無い環状交差点）を活用した安全で効率的な交差点の推進

## 小川やすえ



初めての

## 県政報告会

を開催します!!

予約不要・入場無料

どなたでもご参加いただけます。お気軽にお越しください!!

日時 2019年9月22日(日) 15:00～16:30

場所 ライズヴィル都賀山5階 ロータス

### ゲスト



三日月大造滋賀県知事



宮本和宏守山市長



嘉田由紀子参議院議員



奥野真弓市議



國枝敏孝市議



森重重則市議



福井寿美子市議

守山市議会会派「ネットワーク未来」



# チームしが 県議団

## 会派ニュース

発行責任者/中沢 啓子  
編集責任者/山本 正

2019年9月 第19号

チームしが 県議団 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1県庁2階 TEL/077-528-4035 FAX/077-510-6520 MAIL/info@knw.jp チームしが 県議団 検索

### 6月定例会議 代表質問

人口減少が始まり、超少子高齢社会へとかう中、格差社会の是正、災害や環境破壊などに対する新しい答えが求められています。次の時代を担う子ども達。子どもを生み、育てる支援をするともに、子どもが安心して育つ環境を整備することはとても大切です。子ども達が生きる力をつけて、新しい時代を創造し、共に生きる社会を構築できるよう、取り組んでいきたいと思っています。

私たち「チームしが 県議団」は、命と暮らしを守り、すべての人に居場所と出番のある共生社会を目指して、力をひとつに頑張っています。

改選後、新たな仲間が加わり、初めて迎える定例会議の代表質問は、会派代表である中沢啓子議員が、「チームしが 県議団」を代表し質問しました。

### 大戸川ダム事業について

**Q** 私たちは、東日本大震災を始め様々な災害が起こるたびにハードだけでは命を守りきれない、ということを知り、その中で、命を守る政策として、ハードだけでなく、ソフトの政策を組み合わせて、流域治水政策を進めてきた。

知事は4月16日の定例会見で、「大戸川ダムは必要。早期整備を国に求める。」と述べ、ダム建設を容認する方針を表明した。そもそも大戸川ダムに一定の治水効果があることは、凍結時点でも認められており、昨年度の「大戸川治水に関する勉強会」で検証するまでもないが、近年の気候変動による雨の降り方も10年前と比べて、変わってきていることも踏ま



代表質問に立つ 中沢啓子 議員

え、勉強会での検証については、我が会派としても一定評価はしている。しかし、勉強会では、県がデータを示して説明し、専門家が意見を述べる形で、ダム建設を前提にした議論に見え、異論を示す識者が参加していない勉強会に違和感を感じざるを得ない。もっと多角的な視点からの議論が必要であったのではないかと考える。

県政の重要課題のひとつでもある大戸川ダム事業について、議会への丁寧な説明がされないまま、定例会見でダム建設容認の表明をされた知事の政治姿勢は甚だ遺憾であり、なぜ拙速な政策判断をされたのか、また、ダム建設に緊急性があるのか知事の本意を伺う。

**A** 知事 近年、全国各地で想定を超える豪雨が頻発し、本県でも平成25年台風18号では全国初の大雨特別警報が発令される豪雨となり、大戸川周辺でも浸水被害が発生した。大戸川では、ダムに先行し、河川改修を進めてきており、既に7割が完成し、次の段階を検討する時期にきている。

こうした状況の中、平成29年11月議会で、「県益を最優先する河川政策の推進を求める決議」を受け、昨年5月から3回の勉強会を開催し、その結果を総括し、ダムの必要性が認められたので、県民の生命や財産を守る立場から、できるだけ早く伝えたいと考え、4月16日に表明した。

ダム建設の緊急性についても、近年の想定を超える豪雨の頻発や、大戸川を進めている河川改修の状況を踏まえると、更なる治水安全度の向上が必要であり、ダム建設の緊急性が高いと判断した。

**Q** 2003年にダムは原則建設しないと提言した淀川水系流域委員会では、治水のほか環境、まちづくりなど多様な分野の専門家、市民が加わり、情報公開を徹底し、400回を超える議論を重ねた。再度、専門家にとどまらない、住民参加の議論が必要であり、自然災害も多発している現況も踏まえ、防災・減災のあり方を根本から考え直す時期ではないかと考える。多角的な視点での議論の場の設置を提案するが、見解を伺う。

**A** 知事 防災・減災、ハード・ソフト対策、環境、景観、まちづくり等の多角的な視点で検討することは大変重要。今後、必要に応じて、事業主体である国が、治水、利水、環境等の様々な分野における専門家の意見や一般住民の意見を聴取していくものと考えている。県としても、その時々それぞれのテーマで県の立場をまとめ、伝えられるよう努める。

**Q** 5月の大津市大萱交差点での痛ましい交通事故を受けての所感を伺う。事故現場の対策状況

### 交通事故から命を守る取り組みについて

5月の大津市大萱交差点での痛ましい交通事故を受けての所感を伺う。事故現場の対策状況

**A** 知事 交通事故はいつでも、誰の身にも起こりうるということ、そして、ほんの一瞬の気の緩み、不注意が思いもしない重大な結果を招くことを痛感した。そして、交差点における歩行者等の安全確保を観点とした施設整備などのハード対策や、ルール・マナーの徹底などのソフト対策の両面、何をすべきか、何ができるのか、もつとできることではないのかを常に考え、このような悲しい事故を二度と発生させないために、県をあげて交通事故撲滅に取り組みなければならないと改めて強く認識した。

事故交差点の対策状況は、安全度をさらに高めるための対策として、防護柵の設置等の交差点改良工事を実施した。安全確認の状況は、交差点に防護柵が設置されていない箇所が約430カ所あり、歩行者の交通量や通学路の指定の有無等の利用実態を踏まえて、防護柵の設置などの必要性について、検討を進め、まとも次第、速やかに対応する。補修が必要な箇所が約300カ所あり、緊急度の高いものから順次対応し、できるだけ早く完了するよう努める。

**Q** 重大交通事故の発生の際には、これまでの道路整備に対する考え方が車優先ではないかと声を聞くが、道路整備における歩行者保護の考え方について伺う。

**A** 知事 交通弱者である歩行者の安全対策は極めて重要であり、今後も引き続き、歩道設置や交差点改良などの交通安全施設整備を鋭意進め、歩行者が多い交差点などにおいては、必要に応じて防護柵の設置なども考えていかなければならない。これらのハード整備に併せて、ルール・マナーの徹底などのソフト対策に取り組むことが肝要であると考えている。

**Q** 健康経営の実現について

**A** 知事 健康経営の実現については、琵琶湖を取り巻く課題について、子ども政策について、外国人材の受け入れと共生のための支援について、教育行政について

**Q** 「意見書第8号 消費税率引上げの中止等を求める意見書(案)」を提出し、消費拡大による景気回復が十分に果たされていない現在の経済情勢下での消費税率の引上げは、消費の落ち込みを招きかねず、所得、資産および法人の各分野における総合的な税制の公平化を図ることを政府に対して求める内容でした。

自由民主党滋賀県議員団19名、さざなみ倶楽部2名、公明党滋賀県議員団2名、無所属議員1名が反対し、否決されました。

自由民主党滋賀県議員団19名、さざなみ倶楽部2名、公明党滋賀県議員団2名、無所属議員1名が反対し、否決されました。

近江八幡市・竜王町  
いまえ まさひこ  
**今江 政彦**  
今江まさひこ事務所  
近江八幡市大杉町30の1  
TEL:0748-36-5788  
FAX:0748-36-5794  
Eメール:m-imaie@zctv.ne.jp

彦根市  
えばた やはちろう  
**江畑 弥八郎**  
自宅  
彦根市八坂町943-1  
TEL:0749-25-2535  
FAX:0749-25-5700  
Eメール:ebayan.8@gaia.eonet.ne.jp

長浜市  
おおはし みちのぶ  
**大橋 通伸**  
自宅  
長浜市高月町雨森1558  
TEL:0749-85-4744  
FAX:0749-85-4744  
Eメール:dct913@m-ohashi.com

守山市  
おがわ やすえ  
**小川 泰江**  
自宅  
守山市浮袋町300-15グランドメゾン守山4-323  
TEL:077-582-5758  
FAX:077-582-5758  
Eメール:ogawa-yasue@leto.eonet.ne.jp

大津市  
かわい あきなり  
**河井 昭成**  
かわい昭成事務所  
大津市馬場3丁目13番28号  
TEL:077-523-2701  
FAX:077-522-4477  
Eメール:otayori@a-kawai.net

栗東市  
くのり まなぶ  
**九里 学**  
自宅  
栗東市東坂409-3  
TEL:077-558-1809  
FAX:077-558-0665  
Eメール:try@9ri.jp

大津市  
さぐち よしえ  
**佐口 佳恵**  
大津行政書士事務所  
大津市京町3丁目4番8号1階  
TEL:077-527-5505  
FAX:077-524-9100  
Eメール:meimiraiju@gmail.com

彦根市・犬上郡  
なかざわ けいこ  
**中沢 啓子**  
中沢けいこ事務所  
彦根市中央町3-6  
TEL:0749-26-6300  
FAX:0749-26-6300  
Eメール:nakazawa@serikawa.club.ne.jp

米原市  
すみだ こうや  
**角田 航也**  
自宅  
米原市飯590  
TEL:0749-56-1230  
FAX:0749-56-1230  
Eメール:kouya.sumida@gmail.com

甲賀市  
たなか まつたろう  
**田中 松太郎**  
田中松太郎事務所  
甲賀市水口町北脇436番地1  
TEL:0748-63-5340  
FAX:0748-63-5341  
Eメール:mail@matsutaro.jp

湖南市  
つかもと しげき  
**塚本 茂樹**  
塚本茂樹事務所  
湖南市中央5丁目59  
TEL:0748-76-4870  
FAX:0748-76-4871  
Eメール:info@tsukamoto-shigeki.net

野洲市  
とば よしあき  
**富波 義明**  
とば義明事務所  
野洲市行畑2丁目1-15  
TEL:077-588-2601  
FAX:077-588-2601  
Eメール:info@toba-yoshiaki.net

大津市  
なりた セイリユウ  
**成田 政隆**  
事務所  
大津市唐崎1丁目25番17-601号  
TEL:077-578-8913  
FAX:077-578-8913  
Eメール:mail@narinari.net

草津市  
やまもと ただし  
**山本 正**  
自宅  
草津市野村7丁目2-7  
TEL:077-564-8825  
FAX:077-564-8825  
Eメール:tdsh333@yahoo.co.jp

